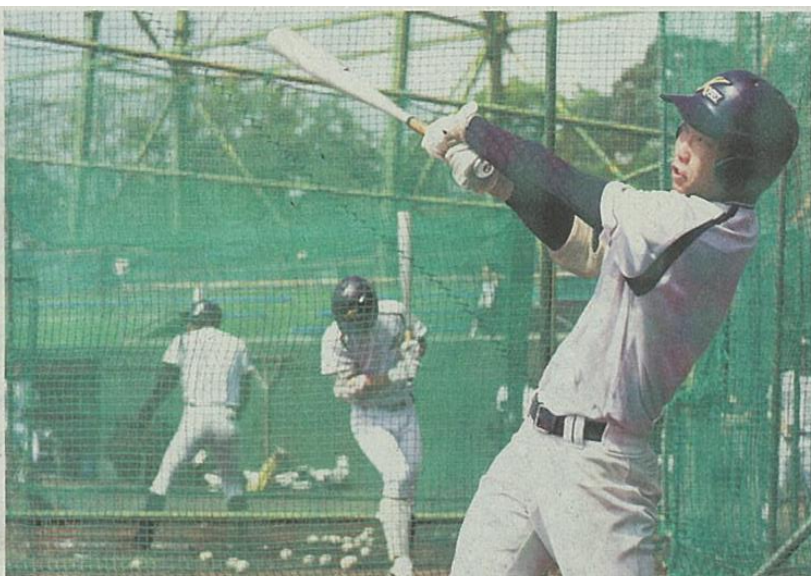


第101回
全国高校野球
選手権大会



打撃練習をする八学光星ナイン17日、
兵庫県西宮市の津門中央公園野球場

光星きょう4強懸け明石商戦

武岡主将「強気に戦う」

第101回全国高校野球選手権大会で、青森県代表の八学光星は大会第12日の18日、第1試合（午前8時開始予定）の準々決勝で明石商（兵庫）と対戦する。2012年の準優勝以来の4強入りに向けてナインは17日、兵庫県西宮市の津門中央公園野球場でノックや打撃練習などに約2時間汗を流した。

打撃練習では、球速の速い相手投手を想定。球速を速めに設定したマシンで近距離打撃を行い、ナイン

が次々と快音を響かせた。投手陣はキャッチボールやフォームチェックなど軽めの調整。青森県大会決勝で先発した下山昂大は捕手を座らせて15球ほど投げ込んだ。

昨夏の甲子園初戦での明石商戦を踏まえ、武岡龍世主将は「バントやエンドランなどを使って粘り強い野球をしてくる。投手陣もいい変化球を持っているので、見極めをしっかりとりたい」と強調。「相手は闘争心むき出しでぶつかってく

ると思うので、強気に戦って守備からリズムをつくっていききたい」と意気込んだ。（上村公悟）